

# 国連「女子差別撤廃委員会」 CEDAW/C/JPN/QPR/9 に関する意見書

2020年5月30日

女子差別撤廃委員会委員長 Ms. Hilary Gbedemah  
委員各位

皇統(父系男系)を守る国民連合の会  
会長 葛城奈海

## 日本の皇室典範「皇位の男系男子継承」は古代伝承に基づく信仰であり、 女性差別として扱うことは「宗教の自由」への侵犯である

### 1. 当団体について

私たち「皇統(父系男系)を守る国民連合の会」は2019年10月に発足した市民団体であり、126代、2,600年(少なくとも2,000年)以上に亘って守られてきた父系男系による皇位の継承を、日本国民の総意として守るべく立ち上がった団体である。

### 2. 意見書を出す理由

- (1) 貴委員会が、3月9日付けに発した「日本政府への質問事項リストのパラグラフ2に「皇室典範について、現在は皇位継承から女性を除外するという決まりがあるが、女性の皇位継承が可能になることを想定した措置についての詳細を説明せよ。」と書いてあることを知った。
- (2) また、市民団体NGO「公益社団法人自由人権協会」が提出した意見書に「皇室典範が女性の皇位継承を排除していることは、女性差別撤廃条約1条(女性差別の定義)、2条(締約国の差別撤廃義務)、15条(法の下での平等)に違反する。このような法の規定は性差別主義に根差すものであり、日本社会における女性に対する差別を助長するものである。」と書いてあるのを読んだ。
- (3) この二つの質問事項並びにNGO意見は、国家と民族の悠久の歴史に根ざした信仰と伝統に対する介入であり、越権行為です。UN(United Nation)が、女性の皇位継承が「可能になることを想定した措置の詳細」を求めることなど、断じて認めない。

### 3. 主張

- (1) 皇室典範に規定されている皇位の男系男子継承は、日本民族の古代伝承に基づく信仰のあり方であり、女子差別撤廃条約が求める女子差別とは異次元の問題である。
- (2) 従って、貴委員会が、本年3月9日付で発した「日本政府への質問事項リスト」から削除するよう強く要求する。
- (3) 以下にその理由を述べる。

### 4. 理由

- (1) 8世紀初頭に欽定された日本の歴史書(日本書紀)によれば、日本は、初代神武天皇による建国以来2,600年(少なくとも2,000年)以上にわたり途絶えることなく続いてきた、世界最古で最長の国家である。諸外国のような王朝の交代は歴史上1度もない。
- (2) それを可能にしてきた根源力は、わが国の悠久の歴史にのっとり、昨年の御代替わりで126代へと縦糸のように継承された、皇統の連続性にある。
- (3) 日本では、天皇は国民を天から授かった大御宝として慈み、国民は天皇を民の幸せと安寧を祈る祭祀王(祭り主)とし敬迎するという、世界に二つとない稀有な君民一体の間柄を保っている。

- (4) 皇位の継承原理は、「父親を遡れば建国を成しとげた初代の神武天皇にたどり着く」という、父系・男系の尊重であり、例外なく厳守されてきた。
- (5) 過去126代の天皇の中には、8方10代の女性天皇が存在した。ただし父親を遡れば初代神武天皇にたどりつく父系の皇后または皇女が、天皇として即位したものであった。それら女性天皇は、いずれも、先帝が若くして崩御されたり、後帝が幼少で天皇の任に堪えられない等の事情のもとに、中継ぎ役として即位されたものである。この歴史を知れば、天皇の地位と皇位の継承は、民族固有の宇宙観にもとづく信仰の問題であり、信教の自由という近代法理を冒瀆しかねず、「女子差別撤廃条約」の対象とされるべきものでは断じてない。
- (7) ひるがえって考えて頂きたい。カトリック教会の法王・枢機卿・神父などの聖職者、またイスラム教の聖職者は、みな男性に限られ、妻帯も許されていない、一代限りの聖職者である。むろん遺伝子は継承されない。
- ところが日本民族は、はるかな昔に「貴種の血を伝える」ことの重大さに気づき、数度の危機をのりこえて、初代天皇の遺伝子を残しつつけてきた。人類史上の「奇跡の血筋」であり、万国政治史上の「世界遺産」制度があるなら、その無形世界遺産第1号に認定すべきだと、私たちは信じている。
- 貴委員会が、ローマ法王庁やイスラム教国に対して抗議しないのであれば、日本国の皇位継承に関する介入自体が、不当な人種差別であり、宗教差別にあたることを、しっかりと認識していただきたい。
- (8) なお、補足すれば、日本の国技の「相撲」が、天皇ご臨席のもとに宮中で開かれたのは、1300年前の奈良時代初めからであり、全国から郷土代表の壮健な男子が集まって力を競った。
- 伝統芸能「歌舞伎」は、江戸時代の初めに、男性だけで演じるように定められた。以後360年間、女性の参加は許されたことがなく、女の役は、男の役者が演じる決まりである。
- 逆に女性に人気のある「宝塚歌劇」という女性ミュージカルでは、男性の入団は許されず、男役を女優が演じている。
- 男女の差異を生物の役割分担ととらえてきた日本人は、性差を尊重しつつ、実はおおらかでもあるという、柔軟な文化を内包している。

## 5、結論

日本における皇統の男系一貫は、民族固有の価値観から生まれた文化として尊重されるよう、切に願う。

以上